

「花」

作曲：滝廉太郎

1. 春はるのうららの 隅田川すみだがわ

のぼりくだりの 船人ふねびとが

權かいはのしづくも 花はなと散ちる

ながめを何なにに たとふべきお

2. 錦にしきおりなす 長堤ちやうていに

くるればのぼる おぼろ月つき

げに一刻いっこくも 千金せんきんの

ながめを何なにに たとふべきお

「手をつなごう」

1 光りを求め よりつどう

世界のともよ 手をつなごう

同じひとの血を 受けながら

なぜ憎み合う 兄弟よ

2 静かにむねに 手を当てて

世界のともよ 考えよう

自分がはしらに ならなけりゃ

だれが世界を 支えるのか

文鮮明先生

自叙伝書写礼拝



2012年4月8日（日）

天馬教会

《式次第》

司会：

- ・ 黙 禱 全 体
- ・ 開会の言葉 司 会
- ・ 敬 礼 全 体
- ・ 家庭の誓い 全 体
- ・ 代表祈禱 司 会
- ・ エンターテイメント

「花」合唱

- ・ 証 し 代 表 者
- ・ 自叙伝紹介映像上映
- ・ 浅川先生VTR
- ・ み言訓読 全 体
- ・ 講 話 山川都大会長

“家族書写は天国の出発点”

- ・ 書写実践 全 体
- ・ 瞑 想 全 体
- ・ 手をつなごう 全 体
- ・ 祝 禱 山川都大会長
- ・ 全体祈禱 全 体
- ・ お知らせ 司 会
- ・ 閉会の言葉 司 会

【 家庭は天国の出発点 】

家庭は、神が創造した最高の組織です。また、人類が互いに愛し、平和に暮らすことを学ぶ愛の学校であり、世の中に平和の王宮を立てるための訓練道場です。為に生きる夫と為に生きる妻として、そして永遠の愛の道を行くための夫婦として、その責任を学ぶところです。家庭は世界平和のためのベースキャンプなので、息子、娘が「お父さんとお母さんが喧嘩する姿を、生涯一度も見た事がない」というようにならなければなりません。

父母は、子供たちにとって第二の神様です。「神様が好きか？お父さんとお母さんが好きか？」と尋ねて、「お父さんとお母さんが好きです」と答えたら、それはすなわち「神様も好きだ」という意味です。教育の最も大事な部分を担っているのが家庭です。幸福も平和も、家庭の外にはありません。家庭こそが天国です。いくら莫大なお金と名誉を持ち、世界をすべて手に入れたとしても、健全な家庭を築くことができなければ、その人は不幸です。家庭は天国の出発点だからです。夫婦が真実の愛で結ばれ、理想的な家庭が築かれたら、宇宙と直接連結されます。

【 家庭の誓い 】

てんいちこく

天一国主人、私たちの家庭は真の愛を中心として、本然の血統と連結された為に生きる生活を通して、心情文化世界を完成することをお誓い致します。

【 自叙伝書写の証し 】

主人の兄(85才)が、昨年入院をして、酸素吸入を4リットルしていました。12月に書写をお勧めしたら、素直に書いてくださいました。2月にお見舞いに行ったら、顔色も良く、酸素が2リットルになった、奇跡だと、とても喜んでくれました。